



連載 第五七回

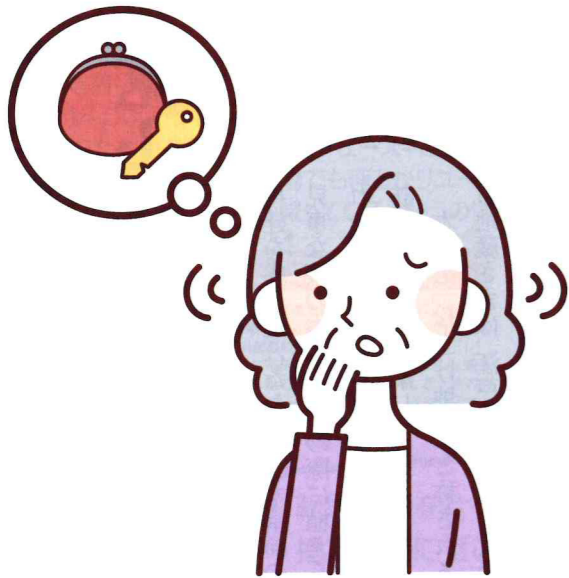
# 自分らしく暮らす 認知症と私

今月は認知症という病気そのものについて改めて考えてみましょう。認知症には脳細胞の不具合によって起こる「中核症状」と、それによって2次的に引き起こされる「行動・心理症状」があります。行動・心理症状はその人の生活歴や環境、性格などによって異なります。中核症状の代表的な「記憶障害」の場合、どのような「行動・心理症状」が現れるのかお話しします。

探し物をする事が多くなったAさん。元々几帳面な性格で、以前は忘れ物や物を無くすことはあまりありませんでした。認知症になってからは、しまった場所を何度も確かめ、それをメモに書くなどと工夫をしています。ですが、それらを記憶に留められない(中核症状)のため、ますます混乱してしまいます。

「調子が悪い」などと取り繕って約束を断ることが増えました。そして「最近仲間に入れてもらえない」とか「〇〇さんが、私の悪口を言っている」など他者のせいすることも。その結果、孤独感や不安が募り、話相手になつてくれるお店に度々出掛け、不要なものを買ってしまう、詐欺まがいのことに多額のお金を使うなど、後々家族が慌てる事もあります。

このように、認知症の人の生活状況や性格を十分に理解して対応する必要があります。それが認知症介護の難しさの一因でもあるのです。



辰川会グループ  
社会福祉法人さんよう理事長  
**辰川 和美**さん  
京都市出身。広島大学教育学部心理学科卒。大学では学習や記憶のメカニズム・感覚とその認識のシステムなどを学ぶ。その後、医療施設の経営やデイサービス・特別養護老人ホームなど介護事業を運営。認知症の人の生活しづらさや、家族の不安・困惑に対する支援を続け、ライフワークとして取り組んでいる。

## ◆不安から責任転嫁へ

「頑張つて気をつけているのに、どうして次々と物が無くなるの」「おかしい、何か変なことが起こっている」と不安が募り、「私ははっきりかっているのに。誰かが置き場所を替えたり、勝手に片付けている」と責任転嫁が始まります。家族が否

定すると「私を邪魔者扱いにして」と被害妄想に発展してしまいます。「財産を狙うような家族とは一緒におれん」と攻撃した結果、傷ついた家族の方が「もう一緒に暮らせません」と家を出ることもあります。

独居の人は、長年の友人や近所の知人がターゲットになることも。「あの人が来ると、物が無くなる」と遠ざけたり、他の人に悪口を言いふらすなどして、周囲の理解が得られなくなり、さらに孤立化が進みます。ついには「〇〇さんを捕まえて」と警察に駆け込む例もあります。

## ◆孤立の不安から逃れる

家族には迷惑をかけたくない、自分ができなくなったことを誰にも知られたくないという自尊心やプライドの高いBさん。物忘れや失敗を知られるのは「恥」と強く感じていきます。友達と約束をしても、そのこと自体を忘れてしまうので、場所や日時を確認することが出来ません。「忘れるから誘いに来てね」と頼ることに抵抗があります。

友達に「どうして、来なかつたの?」と聞かれると「もう歳だから」

福山の特産品を贈る

# マルコ水産のお中元



佃煮と焼のりの頂点の詰合せ  
**海苔師の厳選のりセット**

商品番号S-21 **3,456円**  
焼のり「新海苔PREMIUM」(8切×28枚)×2個、生のり佃煮(極)80g×2個  
アレルギー:大豆・小麦



とにかくこれがうまいんじゃ!  
**塩のり6本セット**

商品番号S-13 **3,564円**  
塩のりオーリーブオイル仕立て(8切40枚)×6個



【限定】2022年度  
**プレミアム大判缶**

商品番号G-29 **3,240円**  
田島海苔師の  
焼のり「新海苔PREMIUM」  
大判5枚×5袋入り

全て税込み 送料別途

ご注文は店頭・TEL・FAXで  
**「ぐらんふあーまを見た」とご連絡ください**



**TEL.084-986-2418**  
**FAX.084-986-2399**

**マルコ水産**



直営店 Maruko Shop  
〒722-2631 福山市内海町イ1428-128  
【オンラインショップはこちらから】  
<https://www.maruko526.jp>